

管理事務所からのお知らせ

今年の梅雨明けは8月1日ごろで平年より12日も遅れましたが、梅雨が明けてからはその遅れを取り戻すかのように、いかにも夏らしい晴天と暑い日が続きました。黒磯でも8月15日には1978年の観測開始以来の最高気温をマーク。35.3℃と、それまでの記録34.5℃(2004年7月9日)を大きく塗り替えました。白笹も日中はかなりの暑さに見舞われましたが、夜になるとたちまち涼しくなって快適なもの。寝苦しさを覚えるようなことはなく、避暑地としての役割をしっかりと果たしてくれました。夏にじゅうぶん気温が上がった年はきれいな紅葉が見られる傾向にあるようなので、今年の紅葉は期待できそうです。

◎ 強風対策を忘れずに

白笹では毎年10月下旬頃になると、山から強い風が吹き下ろしてきます。退荘の際にはテーブルやイス、ガーデニング用品など、強風で飛ばされそうなものは屋内にしまい、雨戸を閉めてロックをしてください。浴室やトイレなどの窓の閉め忘れにも気をつけましょう。また、空気も乾燥してきますので、灯油の取り扱いや薪ストーブの灰の始末などは特にご注意ください。

◎ 水抜きは正しく確実に

10月下旬以降は朝晩の冷え込みにより、気温が氷点下になることがあります。水道や温泉の配管、住設機器を凍結による破損から守るために、退荘時にはかならず水抜きをおこなってください。水が配管や器具の内部に残って凍結すると、破損の原因になります。水抜きは正しい方法で確実におこなってください。また、配管などに凍結防止ヒーターが付いている場合には、冬季は常時ヒーターの電源を入れておくようにしてください。

◎ 万全の冬装備で安心ドライブ

近年、暖冬が多くなりましたが、それでも突然の寒気の影響で、11月の月上旬に積雪を記録することがあります。これからの季節、お車でご来荘される場合には、万全の冬装備をお願いいたします。スタッドレスタイヤを履いていても、タイヤチェーンやスコップ、軍手、長靴、懐中電灯などはかならずご準備ください。タイヤチェーンは破損した場合に備えてスペアを積んでおくと安心です。

◎ 猿にご注意!

秋は木の実が実り、猿の群れの出没が多くなります。猿を見かけたら近づかない、エサを与えないことはもちろんですが、留守にするときは窓を開けたままにしない、ベランダや外部にゴミ等を出しておかないよう気をつけましょう。また、建物周辺にフンがしてある場合等ありますので注意してください。

白笹何でも Q & A



Q 今年、別荘を購入しました。駐車スペースの取れない区画のため、路上駐車になってしまいます。特に気をつける点がありましたら教えてください。

A 路上駐車の際は、なるべくカーブを避け、見通しの良い場所に駐車してください。夕方や夜間、また、天候の状況等により見えにくい場合がありますので、停止表示板や反射板等を置いて、遠くから確認できるようにしておくとう良いでしょう。

編集室より

那須御用邸には8月に皇太子さまご一家が、9月には天皇・皇后両陛下が滞在されましたが、その御用邸用地の約半分、570haが年内にも宮内庁から環境省に移管され(皇室用財産から公共用財産に変更され)、2011年度より一般開放されることになりました。開放されるのはおもに「北側地区」で、用地を横断する県道344号線以北の区域です。これまで確認された御用邸用地内の生物種は、新種・日本初記録種、希少種を含めて3,492種類。厳しい管理下で閉ざされてきた自然の宝庫が公開されるとなれば、ぜひ見てみたいというのが本音で、同時に、那須高原にまたひとつ「見どころ」が増えるのは喜ばしくもあるのですが、冷静に考えると不安になるのも事実。570haと言えば途方もない広さ。渋谷区の3分の1以上、東京ディズニーランドのほぼ11倍の面積です。そんな広大な土地が無計画・無制限に開放されて自然が破壊されるようなことがあれば、かならずや周辺の生態系や水資源、地形などに悪影響を及ぼすでしょう。あとで取り返しのつかないことにならないよう、明確周到な土地利用構想のもと、各方面の準備や維持管理体制を万全に整えてから一般開放に臨んでもらいたいものですね。

秋の行楽シーズンたけなわとなりました。山々が色づいて一年でもっとも豊かな表情を見せるこの季節、ぜひ白笹へお出かけください!

編集室ではオーナーの皆様から、「白笹だより」に掲載させていただく写真や絵画、詩歌、エッセイなどを募集しております。作品のジャンルは問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。ご応募お待ちしております。

編集発行
黒磯観光開発株式会社
本社・現地管理事務所

〒325-0111
栃木県那須塩原市板室字白湯山1173-31
☎ 0287(69)0331(代)

白笹だより

No.106

2007.10



国際宇宙ステーション 2007年6月23日(土) 20時10分 FUJIFINEPIX S2Pro、タムロンズームレンズ f28mm F3.5 ハルブ撮影、ISO800、固定撮影
撮影場所/白笹温泉郷別荘地 青木天体観測所 撮影者/青木 稔様

今号の表紙は東京・浅草の青木稔さんが、別荘地内白笹台に所有する「青木天体観測所」から撮影した国際宇宙ステーションの写真です。

国際宇宙ステーションは、世界各国が最新技術を結集して、上空約400kmの地球周回軌道に建設を進めている巨大な有人施設。地球や天体の観測、宇宙環境を利用したさまざまな実験・研究をおこなうためのもので、1998年の最初の打ち上げにより建設が始められました。約90分で地球を1周し、常時2名の宇宙飛行士が滞在しています。現在、この国際プロジェクトに参加しているのは日・米・露・欧州・カナダなど計15カ国。完成は2010年、最終的には大きさはサッカー場ほど、最大滞在人数6名の宇宙ステーションになる予定です。(ただし、現在、完成時期や規模について見直しが図られています。)

以下に、青木さんが写真に添えて送ってくださった文章を掲載いたします。青木さん、貴重な写真に加え、星空と天体観測の魅力がたっぷりと感じられる素敵な文章を用意してくださり、ありがとうございます。なお、国際宇宙ステーションがいつどの方向に見えるかについては、宇宙航空研究開発機構(JAXA)のホームページで調べることができるそうです。

今から40年も昔の小学生の頃、私の生まれ育った東京・浅草の夜空には星の輝きは多くありませんでした。夏、小学校の臨海学校で千葉県岩井海岸へ行きました。昼は海で泳ぎ、夜は海岸でのキャンプファイヤー、非常に楽しかったことを良く覚えています。特に砂浜に寝っ転がって見た星空、手を伸ばせば星が取れそうでした。それほど印象が強かったのです。

それから20歳前後になり、天文雑誌に載り活躍していた白河方面にある「白河天体観測所」に憧れ、「いつか、星々が良く見える所に観測所が欲しい」と思うようになりました。実際に26歳の頃、当時の東京天文台堂平観測所(埼玉県)近くに家を建てたこともありました。

現在は東京・浅草に戻り、屋上に天体望遠鏡を置き、白河天体観測所に近い那須・白笹温泉別荘地にも標高1000mの所に平成3年、もう一つの天体望遠鏡を置いて小さな観測所兼山小屋を建てるのが出来ました。(裏面へ続く)

那須高原の星空は、輝きの強い夏の天の川の流れは当然のこと、羽を広げた雄大な白鳥座、夏の大三角形、秋のアンドロメダ銀河やしし座流星群などの流星群（2001年11月、次から次へと飛んでくる流星を撮影しながら、山小屋でおもわず一人歓声を上げていたこともありましたが）、冬のオリオン座大星雲と恒星では全天一の輝きのあるシリウスなど、輝きのある星々を全て見るができます。難を言えば「近くの街灯の光を消せたらなあ」と勝手なことを思っていますが、消すことが出来れば自分の足元さえ見えないほどの暗さになるのです。

今回の国際宇宙ステーションの写真は単なる光跡を撮影したもので、どなたでも簡単に撮影することができます。今、私が挑戦しているのは国際宇宙ステーションの形を撮影することで、これは撮影機材と撮影技術、撮影時の気象条件などが揃っていないと写すことはなかなか難しいのです。満足な写真が撮れたとき、またお知らせしたいと思います。

これから秋に向かい夜空も澄み渡り、秋の星座が輝きを増してきます。まだ私は現役なので、週末や連休時にしか観測所兼山小屋へ行くことが出来ません。早く那須にどっぷりつかり、那須の星空を思う存分に撮影したい、眺めたい、と思っている今日この頃です。



国際宇宙ステーション

2007年9月9日(日) 4時31分
ミードLX200-25望遠鏡、直焦点
FUJIFinePix S2Proボディ、ISO1600、シャッター1/90
撮影場所/東京・浅草 撮影者/青木 稔様

(右の写真は、青木さんが浅草のご自宅屋上から望遠鏡を用いて撮影した国際宇宙ステーションの写真です。こちらは船体の陰影がはっきりと確認できます。)

白笹掲示板

管理費自動振替へ変更のお願い

今年4月より、10万円以上の金融機関窓口での払込には、払込名義人本人の身分証明書の提示が必要となり、管理費等のお支払いの際に大変お手数をおかけしております。下記の方法を用いていただきますと、お客様のお手を煩わさずお支払いいただくことができますので、変更いただきますようお願い申し上げます。

- ① オリックス北関東(株) (足利銀行グループ集金代行会社) による自動引落し
- ② 郵便局による自動引落し

○ (①②いずれも振込手数料は弊社負担です。) 詳細につきましては管理事務所に尋ねください。 ○

エンジョイしています。別荘ライフ



大倉さんご夫妻

当時、家の廻りは、初めて建て売りされたと聞く、我が家を含めた3軒が並ぶのみで、雑木林が沢山あり、昼でも静かで寂しい所でした。あの頃、受験勉強で泊っていた息子が、真夜中に突然鳴いたセミの声におどろき、一人で泊るのを嫌がりました。その子も今では2人の子の親となり、孫たちは白笹大好き孫になりました。孫たちの合言葉は、「那須で遊ぼう」です。トンボ採り、雪合戦、ソリ遊び、そして、当地起点でのプール、遊園地、牧場等々、私たちよりも、多くの楽しみを求めて上手にエンジョイして居ります。

春になると、沼原の座禅草、近くのカタクリの花と、白笹の花めぐりがあります。我が家の庭にも、ウスバサイシン、ハンショウツル、トリカブト、知らない間に咲いていた白根アオイ、トンボ草。ギボウシは、花が終ると、種の始末が嬉しい(?) 悩みです。あまり庭の手入れなどしない私ですが、ここへ来ると、別人になったみたいにせっせと汗まみれになって働きます。少し気になった芽は、花の咲くのを待ちます。でも滞在中にその花との出会いが出来なく、後日枯れてしまった花を見るのは、とても残念に思います。

庭にはいつも新しい発見があり、山野草の本をめぐりながら名前を探るのは、ワクワクとする、とても楽しいひとときです。

仕事を離れた主人と二人、今年もそんな時間が欲しく、白笹へ来ます。

今回は八汐台の大倉さんのご登場です。各地で記録的な猛暑が続いていた8月半ば過ぎ、ご夫婦水入らずで、涼しく快適な別荘滞在を楽しまれていた大倉さんに原稿のお願いをしたところ、奥様にご快諾いただきました。ご家族の白笹での大切な思い出と、別荘での素敵な時間の過ごし方を、穏やかに優しさあふれる文体で綴ってくださいました。ありがとうございます。なお、奥様は山野草にもかなり詳しいご様子。今度はぜひ、お庭に咲いた山野草の写真・レポートなどもお寄せください。お願いいたします。

やっぱり那須はいいわ!

涼しいね、やっぱり白笹ね。夏になるとこんな会話が、もう20年も続いています。

我が家が、ここ白笹に通うようになった年に、柴犬のタローも一員となりました。夏から秋にかけては、赤トンボを追い、雨水で流れる木の葉とたわむれ、雪の中にスッポリうもれてもがいた姿、今は思い出となりました。

那須で見られる山野草⑦ サワギキョウ(沢桔梗)

おもに山地や亜高山で沼・湿原などに群生するキキョウ科の多年草。茎は枝分かれせず直立して、丈は50cm~130cmくらい。草全体に口ベリンという有毒物質を含み、食べると血圧降下や痙攣などを起こして危険です。花の見頃は8~9月。花の色はキキョウによく似ているものの形は大きく異なり、2.5~3cmほどの花は唇形。上唇は2裂、下唇は3裂して、鳥が翼を広げたようにも見えます。秋の陽射しを浴びて水辺を青紫に彩る姿は、あざやかで印象的。秋の季語として数々の歌にも詠まれ、日本原産のこの花が、いにしえより風流を愛する人々に親しまれてきたことがうかがえます。



沼原に咲くサワギキョウ ▶

おいしい場所 お教えします

さんげつ
那須蕎麦 山月
TEL 0287-68-1230

営業時間 11:00~15:00、17:00~21:00 水曜定休



県道30号と369号が交わる戸田交差点の近くに、そば屋さんができたのにお気づきになりましたか? 西那須野塩原ICから白笹方面に向かうと交差点の直前、左手です。今回は7月に開店したばかりのこのお店、「那須蕎麦 山月」をご紹介します。

戸田・高林地区にはプロ顔負けのそば打ち愛好家が多く、そば打ち愛好会の活動も盛んです。「那須蕎麦 山月」の店主、月井さんが参加しているのは「麺道楽」という、もっとも古くからあり、技術レベルも非常に高い愛好会。設立当初よりメンバーに加わり、そば打ち練習会やボランティアの「出張そば屋さん」など、積極的に活動を続けてきました。そば打ちはあくまで趣味で続けていくつもりでしたが、高林地区に県の補助金を受けて組合形式で運営するそば屋さん建設の話が持ち上がると、すでにそば打ちの腕を上げて評判になっていた月井さんに、出資者兼店長として運営に参画しないかと声がかかりました。さんざん迷ったすえ、脱サラを決意。月井さんがほかの出資者たちと4年前に立ち上げたこのそば屋さんが、高林JA野菜直売場となりの「農村レストラン 高林坊」です。初代店長としてのプレッシャーを感じつつお店を軌道に乗せるまでは、趣味とは根本から違う経営の難しさ、大変さを痛感されたとのこと。当時のご苦労が、ご自分のお店、「那須蕎麦 山月」を持った今、確かなノウハウとなって活かされています。

「那須蕎麦 山月」では2種類のそばが選べますが、ともに甲乙付けがたい絶品。「田舎そば」(600円)は玄そばを甘皮が付いたまま石臼で挽いているため、色が濃く香りが深いのが特徴。「山月そば」(700円)

は実の芯の部分を使った更科系で、独特の甘みと喉越しの良さが際立っています。どちらも地元産のそば粉をベースに、季節に応じて最適の産地のそば粉を加減しながらブレンドするという徹底したこだわり。戸田・高林地区はそばの作付けが盛んで月井さんみずからも栽培していますが、最良の味を出すためにあえて地元産100%にはこだわらない、このあたりの柔軟性とバランス感覚はさすがです。

「同業者のなかには『那須はそば屋が多いから競争が激しくてかなわない』と嘆いている人もいますが、私はそば屋がもっとどんどん増えればいいと思っています。喜多方のラーメン、宇都宮の餃子のように、おいしいそばが那須の名物になるといいですね。この県道30号が『那須のそば街道』になる日を夢見て、これからも地域ぐるみでがんばっていきたいと思います」と月井さん。

そばのおいしさもさることながら、清潔な店内はくつろげる雰囲気です。白笹からお出かけになりやすい場所なので、2種類のそばを食べ比べてみてはいかがでしょうか?

オススメのメニュー

- 田舎そば
天盛りそば・天ぷらそば 各900円
天井セット 1,300円
うな丼セット 1,350円
- 山月そば
天盛りそば・天ぷらそば 各1,000円
天井セット 1,450円
うな丼セット 1,500円
- ほかにうどん、おつまみなどもあり。